

③ 省エネと維持管理

- 住宅型式性能確定書において、省エネルギー対策認定取得 等級4(最高等級)を取得
- 高断熱、高气密を図ることにより冷暖房用の熱ロスを低減し、お財布にも環境にも 優しいエコな家を実現

暑い夏には遮熱、寒い冬には断熱。高断熱・高气密化により外部に逃げていた熱ロスを抑え、冷暖房用エネルギーを低減しますので、電気代の節約につながります。また、ノンフロン断熱材なので地球温暖化防止にも貢献します。



△一般的な対策	◎NEO-BASIC IV工法の対策
冷暖房の効き目(効率)が悪い。	冷暖房の効き目(効率)が良い。
部屋の中の温度差が激しい。	部屋の中の温度差が少ない。
省エネ効果が低い。	省エネ効果が高い。
電気代の負担が大きい。	電気代の負担が少ない。
結露が起こりやすく、カビやダニの心配。	結露を防止して、カビやダニを防ぐ。
木材(骨組み)の劣化が起こりやすい。	木材(骨組み)の劣化を防止。
木材(骨組み)の耐久性が低い。	木材(骨組み)の耐久性が高い。

維持管理への配慮

- 住宅型式性能確定書において、維持管理対策認定取得 等級3(最高等級)を取得
- 配管にサヤ管を採用することで、構造躯体も影響を及ぼさずに配管のメンテナンス又は交換が可能